

胎内市

Tainai City Assembly



議会だより

平成21年

12月1日

No. 19



2009 くらかわ産業まつり

第3回定例会

平成21年
(10月2日～10月21日)

第3回臨時会
(7月27日)

2～3 ページ

一般質問

12議員

市政を問う

(内容は本人の草稿によるものです。)

4～9 ページ

3常任委員会審査内容

10～11 ページ

20年度 決算審査特別委員会

12～16 ページ

閉会中の委員会所管事務調査

17～19 ページ



この用紙は資源保護のため再生紙を使用しています。

平成21年 第3回 定例会

主な議案

10月2日～21日

本定例会では、補正予算12件、条例関係8件、境界変更1件、同意3件、認定18件、請願1件、報告4件、発議2件が上程され、請願は不採択、そのほかの議案はすべて可決された。

一般会計 補正予算

〔予算の総額に歳入歳出それぞれ26億340万円を追加し、総額を198億7,485万円とする〕

主な内容

- ・民生費
 - 3歳未満児等の増加に対応するため、臨時・パート保育士を増員した賃金(1,477万2千円)
 - ・衛生費
 - 中条中央病院に対し財政的な支援として、夜間救急診療運営費補助金
- ・教育費
 - 小学校の校舎及び屋内運動場の地震改築工事費(2億9,190万円)
 - 中学校の校舎及び屋内運動場の地震改築工事費(6億7,010万円)
- ・商工費
 - 平成22年度より胎内リゾート施設の運営を委託する予定の仮称・株式会社社胎内リゾートに対する出資金(3,000万円)

三浦雄一郎講演会委託料(120万円)

その他の補正予算

- ・国民健康保険事業特別会計
- ・老人保健事業特別会計
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・介護保険事業特別会計
- ・農業集落排水事業特別会計
- ・特定環境保全公共下水道特別会計
- ・黒川診療所運営事業特別会計
- ・観光事業特別会計
- ・地域産業振興事業特別会計
- ・簡易水道事業特別会計
- ・鹿ノ俣発電所運営事業特別会計



条例の一部改正

- ・副市長定数条例
- ・特別職の職員の給与に関する条例及び教育長の給与及び勤務条件等に関する条例
- ・入湯税条例
- ・市立学校施設利用条例
- ・認可地縁団体印鑑条例
- ・クアハウスたいない条例
- ・安全・安心なまちづくり条例

- ・胎内リゾート関係施設への指定管理者制度の導入に伴う関係条例の整備

市の境界変更

胎内市と新発田市の境界を変更

同意

- ・監査委員の選任 峯岸希之氏
- ・教育委員会委員の任命 平野庄一氏 小野達也氏



認定

- ・市道路線の認定
- ・平成20年度歳入歳出決算

一般会計 特別会計

- ・国民健康保険事業
- ・老人保健事業
- ・介護保険事業
- ・農業集落排水事業
- ・特定環境保全公共下水道事業
- ・公共用地先行取得事業
- ・黒川診療所運営事業
- ・観光事業
- ・地域産業振興事業
- ・簡易水道事業
- ・後期高齢者医療
- ・鹿ノ俣発電所運営事業
- ・宅地造成事業

企業会計

- ・公共下水道事業
- ・水道事業
- ・工業用水道事業

請願

〔後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書〕提出を求めるもの

報告

- ・(平成20年度)一般会計予算継続費の精算報告
- ・公共下水道事業予算継続費の精算報告
- ・下越土地開発公社決算に関する報告
- ・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に係る報告

異議

〔私立高校生が学費を心配せず安心して学べるようにするために、学費軽減制度の拡充など私学助成の増額・拡充を求める意見書〕

☆その他の補正予算、条例関係は10・11ページ、平成20年度決算の認定は12～16ページの委員会審査に詳しく載っていますのでご覧ください。

2期目を迎えた吉田市長

所信表明

要旨

少子高齢化対策

「幼保一体型施設」を設置することにより、様々な保育ニーズに添えていくとともに、延長・一時保育等の特別保育事業や乳児・子どもに対する医療費助成事業等を推進していく。また、認知症高齢者の対策として、地域包括支援センターを中心に、温かく見守ってくれる地域づくりに取り組む。

環境にやさしいまちづくり

現在「胎内市地球温暖化防止実行計画」の策定に取り組んでおり、建設中の胎内小学校では、太陽光発電や屋内運動場の雨水をトイレ洗浄水として利用できる設備の設置を進めている。また、資源循環型社会の形成を目指し、バイオマスタウン構想の事業化に向け、関係機関と協議しながら取り組んでいきたい。そのほか、工業団地内に風力発電に係る変電所が設置される計画があり、期待している。

農業振興

適地適産を支援するとともに、胎内市が有する自然の恵みの素晴らしさを認識することにより、地産地消を推進していく。また、新規需要米制度での「米粉用加工米」の作付けの拡大を図りながら、新潟製粉株式会社に販売を推進していく計画である。

観光振興

「胎内リゾートマスタープラン」「胎内リゾートアクシオンプラン」に基づき、施設の運営方針、地域資源のブランド化、営業戦略等について、その課題克服に向け、「ホテル事業等の民営化」など抜本的な改革を進めていく。また、農山漁村の活性化方策として、「胎内アウレツ館」を有効に活用しながら、グリーン・ツーリズム事業を推進する。

教育環境の向上

複雑な教育問題に対応しながら「学校評価システム」「教育相談体系化連携事業」「いじめ根絶プロジェクト」「小学校ふるとと体験学習」「中学校職場体験学習」等を推進していく。また、学校施設の耐震化を最優先に、安全で、安心できる学校づくりに取り組む。

災害に強いまちづくり

災害時には迅速・適切に対処できるシステムを構築することが重要であり、その根幹となる「防災行政無線」を整備した。今後は、大規模災害等の際に混乱なく行動できるよう総合防災訓練の実施や防災備蓄、木造住宅耐震補助事業の推進に努め、地域防災力の向上を図っていく。

企業誘致

雇用の創出、人口増加、財政基盤の強化などが期待され、本市経済に与える波及効果は極めて大きく、必ずや成し遂げなければならぬと考えている。景気が後退している中にあつても「クラレメディカル株式会社」の明るい報道もあり、新潟製粉株式会社第2工場稼働に伴う関連企業誘致も含め、企業の情報を収集し、積極的な情報発信を実施する。

総合計画・行政改革

新市建設計画を母体とした「第一次胎内市総合計画」を指針とし、財政健全化計画、公債費負担適正化計画との整合性をとりながら、健全な財政運営に裏付けられたまちづくりを進めていくためにも、行政改革を断行し、効果的・効率的に行政を運営する。

第3回
臨時会
7月27日

「一般会計補正予算」 主な内容

- ・総務費
自治会活動応援交付金 (1,700万円)
 - ・民生費
低所得世帯に火災警報器を1個給付するための経費 (900万円)
 - ・商工費
商店街活性化事業補助金 (1,300万円)
 - ・土木費
老朽化している市営・施設住宅の解体工事費 (2,000万円)
 - ・教育費
(旧築地・村松浜・竹嶋) 3小学校の木造校舎の解体工事費 (3,520万3千円)
- 以上、慎重審議の結果可決された。



吉田市長



松井恒雄 議員

市長2期目の市制運営について

都市計画路線の

見直しについて

【議員】 新市建設計画で優先度4の幼保一体型施設、統合学校給食センター、市営住宅8号棟の建設計画と当市の地球温暖化防止実施計画の強化と、職員的能力アップは。

【市長】 第一次胎内市総合計画、新市建設計画、を基本に優先度は、財政健全化計画、公債費負担適正化計画に照らし実施したい。本条、柴橋校区と若宮保育園関係地区住民による胎内市保育施設等適正配置問題協議会を設置し計画策定し、統合学校給食センター建設は胎内市学校給食運営委員会等で協議し、市営住宅8号棟建設事業は学校、公共施設の耐震診断の結果を見て計画策定。地球温暖化対策実行計画は今年度中に策定し、職員の能力アップは総合的研修実施計画を策定。

ながら検討したい。

バイオマスタウン

構想の進捗状況は

【議員】 都市計画路線に決定されて45年経た現在も進展がない、西町線と五輪線は都市計画線から除外廃止しては。又、現在の市道を整備しては。

【市長】 都市計画路線の見直しを、都市計画マスタープランの中で変更、廃止の方向性を定める。現在の西町線、五輪線は今後道路改良を考える。

集会所建設事業補助金条例の見直し

【議員】 現在の補助金条例は平成4年改正以後改定されていない。現時代に寄与できる増額改定と事業費100万円未満の事業にも補助金該当の考えは。

【市長】 今後対象事業費の引き下げ、新築、改築の補助金の上限を見直し、補助率の引き上げを財政状況を見

ながら検討したい。

バイオマス事業の具

体化が示されたが4点につ

【議員】 バイオマス事業の具

【市長】 ①政権交代による補助金交

付は大丈夫なのか。②畜産業者との4、000円/tの負担金の確約は。③当該有機肥料の値段が高めであるが農家側の反応は。④蒸煮方式から炭化方式に変わった利点は。

一般質問



小野康男 議員

奥胎内ダムの動向と所見

二期所見

【議員】 新政権は全国164ダム見直策、国直轄21、県営143内、本県7ダムも対象の奥胎内は県主導で、発端は市流域黒川の180km²と合併計266km²(1km²百町歩)田10対山地1haの比率に乏しい市域、地理的水不足の為、ダム事業完成が宿願の地、水田用水、上水道、地下水の安定供給が、ダム依存の使命、県の動向、市長の所見伺う。

【市長】 奥胎内川ダムは、指摘の通り、国会先生方の、必要性充分と話有り、皆様が良い報告してゆく。

市長一期総括と二期所見

【議員】 一期は市民の負債が一人当り135万の重荷を背負い頑張つて一人当り103万円迄に減少、当初の80億余返済成して、行政

ニーズ穴埋め二期目の課題では、マスター計画山積の折、方針伺う。

【市長】 7つの政策掲げ財政、公債適正化と併せ教育4少子化3活性化8の事業、特性生かし取り組む見込み。

【議員】 市リゾート振興と三セクのワイン、地ビールの採算加味した取り組は。

【市長】 観光施設民営化推進、三セク新会社設立目途、共存共栄第一と継続する。

【議員】 国の所得保償でJA共減反、米粉受入、生産費算定等農家の期待策を伺う。

【市長】 国県の施策見定め、注視し、働きかけたい。

【議員】 行政財産の財貨計算立上げ行政コスト評価、公開制度の時代、取り組は。

【市長】 制度の情報把握し、修繕、予算健全化に活用。

【議員】 地方分権の見地、新

規交付税交付の課題は。

【市長】 国の具体化動向留意し、分権の実を注視したい。

新型コロナウイルス対策は

【議員】 医療は病院、開業医完治薬の対策、基本は市民の予防策は手の消毒、うがい、マスク、体温検知で、根本は、身長伸び迄、人体の免疫力劣り、基礎体温36度超で免疫低下が医学の節理、幼小中、持病、妊婦方、早期発病手当、学校現場等、健康行政策を伺う。

【市長】 市民の感染防止基本に、国県の情報周知し、市の担当課と関係施設と連携を図る。

【教育長】 予防策は毎朝家で発熱の有無測定、異状は学校、登園等自粛受診を保護者に願ひ、感染蔓延に最大注意、新発田・村上の情報共有、学年・学級閉鎖含め万全対策に努める。

平成21年12月1日 胎内市議会だより 19号



松浦 富士夫 議員

市が取り組んでいる エコ対策と見通しは

今後の取り組みを検討している。

議員 多くの自治体でエコ対策を行っている。2020年までに25%削減を目指す厳しい目標が表明されたが、市が取り組んでいるエコ対策と、今後の見通しは。

市長 紙、布、空き缶などを資源ごみとして回収し、リサイクルで有効利用と、生ごみ処理機等の購入金一部補助やペットボトルキャップ、入れ歯のリサイクル等エコ活動に取り組んできた。今後、市として、国の対応を見定め今までの取り組みを継続し、二酸化炭素削減等、環境に配慮した取り組みを普及啓発していく。
議員 行政からノーマイカデーを推進するべきと思うが、市の考えは。
市長 広範囲から通勤する職員も多くいるが、市としても市民、市職員を含め、

傾向がうかがえたとなっているが、市内小中学校は昨年と比較し、学力にどのような変化があったのか。

議員 エコ運動は、全員参加で大きな効果が期待できると思うが、できることを全市民などが参加しエコ運動を推進する考えは。
市長 県は、「レジ袋削減県民運動」を宣言し、市も趣旨に賛同し、市民一人ひとりが身近なことからエコ運動を推進し、定着できるように広報などで知らせていく。

全国学力テスト について

議員 全国一斉で実施した学力テストの成績で、市内小中学校の学力は、国・県平均でどの位置にあるのか。

教育長 国・県の平均正答率と比較し、小学校国語基礎問題で全国平均と同等、他は小中学校とも国・県平均より下回っている。
議員 地域差が埋まらない

胎内スキー場 について

議員 暖冬、少雪が続いているが、シーズンオフのスキー場へ誘客の考えは。
市長 ロッジの貸し出し、駐車場の貸し出しなどで誘客を進めている。ゲレンデ利用は、すぐ誘客に結びつけるのは難しい。
議員 来年度以降のスキー場経営の考えは。

市長 指定管理者制度を導入する予定で、シーズンオフの利用も含めて今後、関係者と議論を重ね慎重に進めていく。

一般質問

平成21年12月1日 胎内市議会だより 19号



小林 兼由 議員

市職員の健康管理は 市長の大切な責務

も良いのだが、再検討させていただきます。

議員 働き盛りの自殺が増え、官民挙げての防止対策が叫ばれている。市では健康診断等には力を入れ、大変喜ばしいことではあるが、こと自殺対策については残念ながら何も見えていない。住民に与える不安、影響もはかりしれないものがある。足元にまで及んでいる事実を市長はどう認識しているのか。

市長 本市の職員においても、亡くなられた方がいたことはまことに残念なことである。個々の職員については、ストレス対処法などについて講師を招き指導しているが、予防の難しさを痛感している。
議員 複雑、多様化している現代社会、専門的な職員の心のケア、相談等による人が必要なのは。
市長 専門の心のケアの人

バイオマスは 軌道に乗るのか

議員 循環型社会を象徴するこの事業に胎内市の環境、悪臭、ごみ処理、また温暖化防止対策にも効果が望め大いに期待しているが、問題はコストがかかり採算が合うかという事である。私は近い将来鶏糞のバイオ発電、燃料に変わる日も近いと思うが、両方の利用が出来る施設計画が必要と思うが。

市長 これまでの検証の中で、豊富な畜糞を有機肥料に変換して、有機農業を推進することを最初のステップと位置づけ、農林水産省から肥料の仮登録をいただいている。次のステップとしては、生ごみ等のエネルギー化して行くことも視野に入れ、流れの中でバイオ

非協力者には 市独自のペナルティを

議員 米の生産調整、ほ場整備しかりである。協力している人達が泣いているような実情は許してならないと思う。
そういったことで当然国県より集落にくるべき補助金等こなかった事例はあったのか。これからもこういつたことはあると思うが、市長はその集落に向き説得というか理解してもらおう事の気持ちはあるのか。

市長 市独自で罰則等を設けることは困難と考える。補助金等是不利をこうむらないよう努力しており、今後は、十分話をさせていた



小田 英夫 議員

本町通り

街路事業は

起債か一般財源で、市の負担になるので御理解頂きたい。

議員 国調の境目の件は、地元の人とはこだわっていないと言っているが。

地域整備課長 調べた中では多くの民地と民地の境界が明確でない所が多々あり、また、個人と個人の境なので、官が携わり争い事を大きくする場合もあるの

で慎重にやっていきたい。
議員 市職員が携わってこそ進む場合もあると思うが。

地域整備課長 定める段階の話合い等では指導できるが、実際の確定は個人同志の話合いになる。

**中条駅西口
JUNCTION**
議員 駅前広場の設計は。

市長 駐車場、駐輪場等設計、大きな渡り廊下をつけたい構想はあり、街路事業同様にマスタープランの中

に盛り込み、関係機関と協議を重ね進めて行きたい。

議員 何回関係機関と話合ったか。

市長 一度JR東日本本社で、別件要望書と共に話した経緯があり、その後、課長を通じてJR貨物と協議している。具体的計画がないとだめなので、マスタープランに入れていきたい。

舟戸川JUNCTION

議員 舟戸川は2級河川で県の川である。水の被害に遭わない為にも、県にお願いして、非常に狭くなってきた河川をきれいにすべきでは。

市長 県が定期的に巡視を実施し、市としてもパトロールを行い、予算化しながら伐採等、進めてもらっている。流れが阻害されると悪いので、今後、また強く県に要望していきたい。

一般質問



坂上 秋男 議員

胎内リゾート観光計画の成果と今後の見通しについて

胎内リゾート振興課長 入浴時間を夜から日中の方に切り下げた。市としても宿泊を多く増やすのが目的と

思っている。
**米粉工場の建築
進捗状況と今後の
見通しについて**

議員 来年2月に完成、3月から操業開始予定で進んでいると思うが、予定通り進められるかどうか進捗状況は。

市長 新潟製粉第2工場の建設については、8月10日に地鎮祭を行ない、工事が進められている。

**大長谷小学校の
耐震工事について**
議員 現在、黒川地区に小学校は3校あるが、少子化により、児童の数が減り統合という話は、幾度も議会

で話題になった。市長は、この問題は地域住民の意向を重視した対応と言っているが、私も地区の住民として同感である。現在の校舍は耐震診断にて指摘を受けたが、早急に耐震対応できる改修工事が必要と思うが。

教育長 耐震補強で対応したい。大長谷小学校は、校舎が円形という特殊な為、設計に要する時間がかかることから、22年度から補強工事を実施予定。

議員 市長が一貫して言っている統合の事は、地域住民の意向を重視した対応に取り組むと理解して良いか。

市長 その通りである。
議員 円形の屋根が赤くさびているので早急に塗ってもらいたいのだが。

市長 その屋根も教育長に指示している。



平成21年12月1日

胎内市議会だより 19号

地域整備課長 残りは当然

議員 その場合60%は市の負担になるが。

地域整備課長 今現在、まちづくり交付金等が一番重宝だが、40%の補助金に

しかならず、いろいろ思案していききたい。
議員 残り

議員 国庫補助金は何パーセントか。

市長 今年度から都市計画マスタープランを進め、街路事業についても盛り込み、

昨年、昨年の新市建設計画見直しを踏まえ進めて行きたい。

やる気という点では、まず筆界未定地を決定する事が先決である。

議員 国庫補助金は何パーセントか。

地域整備課長 今現在、まちづくり交付金等が一番重宝だが、40%の補助金に

しかならず、いろいろ思案していききたい。
議員 その場合60%は市の負担になるが。



新治ひで子議員

ヒブワクチン接種に公費助成を

〔議員〕 5千円の公費助成をして

〔健康福祉課長〕 国の動向を

〔議員〕 ワクチンの効果につ

〔健康福祉課長〕 市の健康教

妊産婦の 歯科衛生支援を

〔議員〕 妊産婦には女性ホル

〔市長〕 国や県の動向を見

〔議員〕 ワクチンは、安全性

〔議員〕 母子家庭に対する支

〔議員〕 子育て支援策は

子育て支援策は

〔議員〕 市の健康教

〔市長〕 国のモデル市町村と

〔議員〕 妊産婦には女性ホル

〔市長〕 国の父子家庭への支

〔議員〕 ワクチンとは

〔議員〕 子育て支援策は

一般質問



鈴木信雄議員

バイオマス事業 最終責任は

買う農家は少ないと思う。

一方養鶏業者の側も1トン

4千円の処理費は相当の負

担になると私は思う。その

証拠にある養鶏業者は一日

当り発生する鶏糞50トンの

うち6トンしか出されない

と言っている。何しろ当世

を代表する不況産業、米と

卵を相手の営業である。そ

の成果は推して知るべしで

ある。当市も合併前の各事

業が裏目に出てきて今は赤

責任のあり方を示してい

だきたい。富岡地内とはい

い、一番近い住宅は高畑集

落にある。糞尿処理センタ

ー移転時の約束違反もあり

住民は心配しているが。

〔市長〕 最終責任は事業運

営が第三セクターのため、市

としては出資の範囲内とし

か責任は負わない。第三セ

クターの役員となる民間の事

業者は、資金調達を含めて

設立段階から経営責任を負

平成21年12月1日

胎内市議会だより 19号

〔議員〕 当初予定していた大

〔議員〕 当初予定していた大

*その他の質問

・二期目における市長の政

治姿勢について

・企業城下町構想について



高橋政実 議員

妊産婦に歯科検診 治療の行政援助を

【議員】 市長の感想は。

【議員】 妊産婦の口腔ケアの取り組みは。

【市長】 新政権には地域主権の考えのもと、国と地方の役割分担を見直し、地方への大幅な権限移譲と地方

【市長】 1歳児親子歯科検診時に、産婦の歯科検診と虫歯及び歯周病予防指導を

【市長】 協議の場の法制化を実現し、地方全体の活力を取り戻す地方分権を強く期待している。又経済、雇用対策、子育て支援や高校の実質無償化の具体策、後期高齢者医療制度、暫定税率その他の地方税財政対策など、喫緊の課題について早急に取り組みを希望する。

【議員】 妊婦さんの数は。

【健康福祉課長】 毎年200人前後である。

【議員】 モデル市町村に選ばれ、計画の策定はどの様に作られるか。

【健康福祉課長】 歯科の医療機関や、一般住民の声も聞く。

【議員】 公共事業の動向をどう見ているか。

【市長】 今現在、国より具体的な方針などの通知がなく、その動向を見守っている。奥胎内ダムについても状況をききわめている。

【議員】 ダムの進捗率は。

【地域整備課長】 河川の右側左側の斜面の形成を行い、

【議員】 事務の増加等行政運営は。

【市長】 新政権下では、さまざまな事業が予定されており、運営上大きな影響が考えられるが、市町村を事業主体とはせず、効率的な事務コストを含め国に要望する。

【議員】 行政の手での雇用創出策は。

【市長】 臨時職員34名を採用した。又景気浮揚策として、プレミアム商品券・住宅リフォーム助成・中小企業対策として信用保証協会の保証料負担助成・年末年始福引券交付事業等実施する。

【議員】 来年度の新規採用枠を広げられないか。

【総務課長】 定員適正化計画の中で行うが、民間の冷えを加味するかは、今後の動向を見て検討する。

【議員】 市職員を対象にして、寒冷地手当（灯油代）年間324万円を支給し、住居手当（新築住宅・借家）1,232万円が年間支払われているが、必要な手当なのか。

【総務課長】 寒冷地手当は、21年度で打ち切る。また、住居手当については国は、21年度末で廃止を打ち出しているのので、これに準じながら検討していく。

【市長】 市職員の活性化

【議員】 12年前から比べると、築地地区で10件、旧中条町商店街では46件程の店が閉められている。市は今後、空洞化している商店街に、どのように施策を進め、活性化させていくのか。

【市長】 市街地活性化については、地域商店街から具体的な要望を聞きながら、商工会と連携して対応する。

【議員】 国道側などから街中に入ると道路が、動脈硬化を起している狭い道であり、十分に車両が通れる道路を整備すべきではないか。

【地域整備課長】 現在、一路線についており、利用度をお願ひしており、利用度を見て、もう1路線必要であるならば、協議をして行く。

【議員】 旧リノイ大学施設などの利用について

【議員】 今年の3月で2名の生徒が卒業し、(学)太平洋が運営するハイスクールが閉校になった施設利用について「公益性の高い学校施設として校舎、友好会館が一体利用されることが望ましい」と述べているが、国際理解や国際交流促進施設として建てられた施設及び、周辺施設を今後、どのように活用していくのか。

【市長】 (学)太平洋を含むNSGグループは、4年制大学設置構想が白紙撤回されてから、学校形態について検討してきたが、現在は、新たな構想を模索中である。また、友好会館については、経年劣化から修繕費がかさみ、維持管理費が大きな財政負担となっている。県とも運営方法、処理についても幾度か折衝をしており、今後、県、(学)太平洋とも折衝、交渉をして行く。

【議員】 すべてをNSGグループに任せるのではなく、他の施設利用方法も考えて荒れ放題の施設、周辺を整備すべきでは。

【市長】 研修施設もあり、下越の教職員研修施設として要望も出しており、今後、どのような利用がいいのか対策を講じて、現状の理解を求めていく。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

一般質問



佐藤武志 議員

市職員の寒冷地手当 住居手当は必要なのか

【議員】 市職員を対象にして、寒冷地手当（灯油代）年間324万円を支給し、住居手当（新築住宅・借家）1,232万円が年間支払われているが、必要な手当なのか。

【総務課長】 寒冷地手当は、21年度で打ち切る。また、住居手当については国は、21年度末で廃止を打ち出しているのので、これに準じながら検討していく。

【市長】 市職員の活性化

【議員】 12年前から比べると、築地地区で10件、旧中条町商店街では46件程の店が閉められている。市は今後、空洞化している商店街に、どのように施策を進め、活性化させていくのか。

【市長】 市街地活性化については、地域商店街から具体的な要望を聞きながら、商工会と連携して対応する。

【議員】 国道側などから街中に入ると道路が、動脈硬化を起している狭い道であり、十分に車両が通れる道路を整備すべきではないか。

【地域整備課長】 現在、一路線についており、利用度をお願ひしており、利用度を見て、もう1路線必要であるならば、協議をして行く。

【議員】 旧リノイ大学施設などの利用について

【議員】 今年の3月で2名の生徒が卒業し、(学)太平洋が運営するハイスクールが閉校になった施設利用について「公益性の高い学校施設として校舎、友好会館が一体利用されることが望ましい」と述べているが、国際理解や国際交流促進施設として建てられた施設及び、周辺施設を今後、どのように活用していくのか。

【市長】 (学)太平洋を含むNSGグループは、4年制大学設置構想が白紙撤回されてから、学校形態について検討してきたが、現在は、新たな構想を模索中である。また、友好会館については、経年劣化から修繕費がかさみ、維持管理費が大きな財政負担となっている。県とも運営方法、処理についても幾度か折衝をしており、今後、県、(学)太平洋とも折衝、交渉をして行く。

【議員】 すべてをNSGグループに任せるのではなく、他の施設利用方法も考えて荒れ放題の施設、周辺を整備すべきでは。

【市長】 研修施設もあり、下越の教職員研修施設として要望も出しており、今後、どのような利用がいいのか対策を講じて、現状の理解を求めていく。

【議員】 市職員の活性化

【議員】 12年前から比べると、築地地区で10件、旧中条町商店街では46件程の店が閉められている。市は今後、空洞化している商店街に、どのように施策を進め、活性化させていくのか。

【市長】 市街地活性化については、地域商店街から具体的な要望を聞きながら、商工会と連携して対応する。

【議員】 国道側などから街中に入ると道路が、動脈硬化を起している狭い道であり、十分に車両が通れる道路を整備すべきではないか。

【地域整備課長】 現在、一路線についており、利用度をお願ひしており、利用度を見て、もう1路線必要であるならば、協議をして行く。

【議員】 旧リノイ大学施設などの利用について

【議員】 今年の3月で2名の生徒が卒業し、(学)太平洋が運営するハイスクールが閉校になった施設利用について「公益性の高い学校施設として校舎、友好会館が一体利用されることが望ましい」と述べているが、国際理解や国際交流促進施設として建てられた施設及び、周辺施設を今後、どのように活用していくのか。

【市長】 (学)太平洋を含むNSGグループは、4年制大学設置構想が白紙撤回されてから、学校形態について検討してきたが、現在は、新たな構想を模索中である。また、友好会館については、経年劣化から修繕費がかさみ、維持管理費が大きな財政負担となっている。県とも運営方法、処理についても幾度か折衝をしており、今後、県、(学)太平洋とも折衝、交渉をして行く。

【議員】 すべてをNSGグループに任せるのではなく、他の施設利用方法も考えて荒れ放題の施設、周辺を整備すべきでは。

【市長】 研修施設もあり、下越の教職員研修施設として要望も出しており、今後、どのような利用がいいのか対策を講じて、現状の理解を求めていく。

【議員】 市職員の活性化

【議員】 12年前から比べると、築地地区で10件、旧中条町商店街では46件程の店が閉められている。市は今後、空洞化している商店街に、どのように施策を進め、活性化させていくのか。

【市長】 市街地活性化については、地域商店街から具体的な要望を聞きながら、商工会と連携して対応する。

【議員】 国道側などから街中に入ると道路が、動脈硬化を起している狭い道であり、十分に車両が通れる道路を整備すべきではないか。

【地域整備課長】 現在、一路線についており、利用度をお願ひしており、利用度を見て、もう1路線必要であるならば、協議をして行く。

【議員】 旧リノイ大学施設などの利用について

【議員】 今年の3月で2名の生徒が卒業し、(学)太平洋が運営するハイスクールが閉校になった施設利用について「公益性の高い学校施設として校舎、友好会館が一体利用されることが望ましい」と述べているが、国際理解や国際交流促進施設として建てられた施設及び、周辺施設を今後、どのように活用していくのか。



丸山孝博 議員

市長選にマニフェストを掲げなかつたのはなぜか

議員 市長が2期目を指す際に、市民に具体的な政策も示さず、結果的に無競争になったが、なぜマニフェストを掲げなかつたのか。

市長 1期目で実施してきた政策を基本に、事業の継続に取り組むという考えから。

景気経済対策の 具体的施策は

議員 2期目の所信表明では、市民が切実に求めている、緊急かつ重要問題である景気・経済対策について、全く述べていないのは残念だ。具体的な独自の施策について、どう考えているのか。

市長 可能な限り、補正予算・来年度予算に反映させていきたいと考えている。

インフルエンザの感染対策とワクチンの公費負担を

議員 インフルエンザの感

染が拡大しているが、市民に対して情報の提供、相談窓口の徹底、ワクチンの公費負担などをおこなうべきでは。

市長 あらゆる機会をとらえて啓発に努める。ワクチンの公費負担は、国がおこなう生活保護世帯や市民税非課税世帯などの方針に従って実施する。

農産物の価格保障 ・所得補償を

議員 農業振興の具体的施策として、農産物の販売価格を一定水準で維持する価格保障と、所得を直接補てんする所得補償をおこなうべきでは。

市長 対応が可能な範囲で市としてできる独自性のある制度を検討したい。

要介護認定者に障害者控除認定書を送付すべきは

議員 介護認定を受けている人に障害者控除対象認定

書は無条件で、本人に送付すべきでは。

市長 送付時期、送付方法などについて検討し、見直しの方向ですすめる。

株胎内リゾートの 運営について

議員 市が3千万円出資して設立し、運営する株胎内リゾートの施設は、指定管理者に移行するための受け皿会社である。指定管理者を公募方式にしないのはなぜか。また、新会社が借り入れをおこなう場合、市が保証することは避けるべきだが。

市長 官民一体となった事業展開の推進のため、第三セクターとして管理をお願いするので、ご理解を。資金不足が生じないよう資本金を募るので、借り入れは発生しないが、そのような事態が発生したら、議会に諮りたい。

一般質問



花野次次兵衛 議員

旧黒川村地区にも 都市ガス供給の要請を

等はやぶさかでない。

日本海自動車道 開通その後は

議員 車両の通行量の現況は。

市長 1日あたり3,800台を見込んでいたが、平日4,400台、休日8,000台と計画通行量を大きく上回っている。

議員 車両の騒音に対する対策は。

市長 騒音規制法の自動車騒音の限度は超えていない。会社に現状を説明し対策を検討して頂く。

議員 側道について、菅田川、木の芽川に橋梁が無く全線繋がっていないのは。

市長 利便性を考慮し、最大限の要望を行ったが橋梁を含めた全線は繋がらなかった。

税込不足が 心配されるが

議員 政権交替で、補正予

算等の執行停止、公共事業の見直し等、地域経済にあたる影響が懸念されることが。

市長 市における税込への影響は計り知れず、大変懸念している。一日も早い景気回復を望んでいる。今後補正予算等をお願いしなければならぬと考えている。

議員 ふるさと納税制度の現況は。

市長 ふるさとに貢献したいという皆様の思いを生かすことができる制度である。本年度は、市外1名、県外2名の方から納税を頂いた。納税者に対する記念品は市報がないを半年間送付している。



平成21年12月1日 胎内市議会だより 19号

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

総務文教 常任委員会

鹿ノ俣発電所運営事業特別会計補正予算

の事業目的である、他会計への繰り出しが出来るよう努力していく。

副市長定数条例の一部を改正する条例

「歳入歳出予算の総額に、それぞれ327万4千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4,607万4千円とする。歳入では平成20年度決算に応じて、繰越金及び修繕費補正の財源として基金繰入金を増額。歳出では、発電所遠隔監視制御装置の修繕費及び前年度繰越金を大規模改修等後年度の財政需要に備え基金へ積み立てるため、積立金を増額するもの」

「多様な政策課題に的確、かつ早急に対応するため、副市長2人制を採っていたが、新市建設計画やその見直しの中で、様々な事業に対応し、軌道に乗せることが出来たと考えられ、副市長2人体制を再考し、1人とするもの」

「質問」 これからの行政運営に支障はないのか。

「答弁」 担当課長と連携しながら1人体制で対応していく。

「質問」 売電の状況は、どのようになっているのか。

「答弁」 20年度は6〜7月の少雨のため、売電収入は厳しい状況。逆に今年度は6〜7月降水量が多かったため売電収入が増加した。

「質問」 今後の事業の見通しは。

「答弁」 発電事業は天候に左右される部分があるが、こ

の事業目的である、他会計への繰り出しが出来るよう努力していく。

副市長定数条例の一部を改正する条例

「歳入歳出予算の総額に、それぞれ327万4千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4,607万4千円とする。歳入では平成20年度決算に応じて、繰越金及び修繕費補正の財源として基金繰入金を増額。歳出では、発電所遠隔監視制御装置の修繕費及び前年度繰越金を大規模改修等後年度の財政需要に備え基金へ積み立てるため、積立金を増額するもの」

「多様な政策課題に的確、かつ早急に対応するため、副市長2人制を採っていたが、新市建設計画やその見直しの中で、様々な事業に対応し、軌道に乗せることが出来たと考えられ、副市長2人体制を再考し、1人とするもの」

「質問」 これからの行政運営に支障はないのか。

「答弁」 担当課長と連携しながら1人体制で対応していく。

「質問」 行政運営に不都合があった場合、2人体制もあり得るのか。

「答弁」 現時点では、考えていない。

「質問」 今後、部長・局長制等の機構改革の考えはあるのか。

「答弁」 現時点では、考えていない。

特別職の職員の給与に関する条例及び胎内市教育委員会教育長の給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例

今年度限りで閉校となる柴橋小学校及び本条小学校に係る文言を削り、胎内小学校に係る文言を加えるべく改正を行うもの」

安全・安心なまちづくり条例の一部を改正する条例

「平成19年に胎内市安全・安心なまちづくり条例を制定し、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んできた。しかしながら、日本各地では昨今の通り魔的事犯をはじめとして、何の関係もない方々が、巻き込まれるという大変痛ましい事件が、発生しているのも事実であり、犯罪被害者等基本法により、こうした被害者や、遺族の負う深刻な精神的被害に対する制度的支援が求められている。そのため、国や他の地方公共団体等と連携して、相談体制の整備その他犯罪被害者等を支援するための施策を講じ、被害者等の精神的被害の軽減を図るべく、改正を行うもの」

「質問」 事業の具体的な内容はどのようになるのか。

「答弁」 市と警察が連携して犯罪被害の防止のため、相談、情報提供、また犯罪が発生した場合は、損害賠償請求、保健医療サービスの提供等を行うもの。

「市境界変更について」

「県営金塚地区区画整理事業の施行に伴い、県において、今年度内の完了を予定している換地処分併せて、胎内市と新発田市の境界を変更しようとするもの」

以上、原案のとおり可決すべきと決定した。

地域産業振興事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ299万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ5億8,730万円とする。歳入では、前年度繰越金、諸収入を増額。歳出では、消費税及び地方消費税の減額、施設の補修工事を計上」

「歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2,500万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4億9,560万4千円とする。歳入では、前年度繰越金を増額。歳出では、共済費率の改定に伴う共済組合納付金と予備費を増額」

胎内リゾート関係施設への指定管理者制度の導入に伴う関係条例の整備

「平成22年度から指定管理者制度へ円滑に移行できる

市道路線の認定

ように、所要の改正を行うもの。利用料金についても、公益上必要な場合を除き、指定管理者が主体性を発揮して、機動的、弾力的に決定できるように、その範囲を定めるもの」

〔質問〕現在の職員数は。

〔答弁〕正規職員が43名。

〔質問〕資本金5,000万という会社経営で、人員、人件費削減の計画は。

〔答弁〕何人戻り、何人採用されるか、削減についても検討、実施中。

〔質問〕支配人の登用は。

〔答弁〕外部導入ができるように進めている。

〔質問〕今回の改正で使用料を上げることでの試算は。

〔答弁〕新会社様が様々なプランを考えることができるように金額の上限を設けた。

〔質問〕ロイヤルホテルの宿泊費の値上げ改定の経過は。サービス料は請求書に記載されるのか。

〔答弁〕値上げ改定は、大衆向けが良いのか、レベラアップが良いのか、できる範囲で相談して算定した。サ

ービス料を含む値段である。クアハウスたいない条例の一部を改正

〔クアハウスたいないに指定管理者制度を導入することとし、円滑に移行できる、所要の改正をおこなうもの〕

〔質問〕指定管理者制度に移行することで、どのくらい効率化されるのか。

〔答弁〕現在勤務している2名の職員の人件費削減と、健康増進のための専任スタッフの配置等、サービスの向上に努める。

市道路線の認定について

〔「日東道測道1号線」、〔日東道測道2号線〕、及び〔日東道測道3号線〕の3路線は、日本海東北自動車道建設工事に伴い整備した道路で、いずれも市道としての基準を満たすものであることから、認定〕

以上、原案のとおり可決すべきと決定した。



厚生環境 常任議員会

国民健康保険事業特別会計補正予算

〔歳入歳出予算総額に1億9,740万円を増額し、総額を34億1,710万円とする。歳入では、保険税及び国・県支出金を減額し、療養給

付費等交付金、前期高齢者交付金及び繰越金を増額。歳出では、医療給付費の実績を勘案して保険給付費を増額したほか、平成21年度分の社会保険診療報酬支払基

金に対する拠出額が確定したことから、後期高齢者支援金等、老人保健拠出金及び介護納付金をそれぞれ増額。加えて将来の保険給付に備

えた基金積立金及び平成20年度分の国県支出金及び一般会計繰入金を精算するための返還金を計上する〕

〔質問〕繰越金が相当な額になっているか。

〔答弁〕医療費の上昇を見込んでいたが、結果的に減ったのが一番の要因である。

老人保健事業特別会計補正予算

〔歳入歳出予算総額に4,399万円を増額し、総額を7,199万円とする。前年度実績に伴う社会保険

診療報酬支払基金、国、県及び市の負担金、補助金等の精算を行うもの〕

後期高齢者医療特別会計補正予算

〔歳入歳出予算総額に719万円を追加し、総額を2億6,719万円とするもので、新潟県後期高齢者医療広域連合納付金等の前年度精算分に係るもの〕

介護保険事業特別会計補正予算

〔歳入歳出予算総額に3,001万7千円を追加し、総額を22億5,681万5千円とする。歳入では、支払基金交付金、県支出金に前年度精算による介護給付費の追加交付分を増額するとともに、人件費及び認定調査員賃金分の一般会計繰入金及び繰越金を増額。歳

出では、介護給付費準備基金への積立金を増額し、20

年度分の国庫補助金及び一般会計繰入金を精算するための返還金を計上する〕

〔質問〕認定調査項目の変更に対する市民からの苦情は。

〔答弁〕一部混乱があったかもしれないが、苦情という形での話はなかった。

農業集落排水事業特別会計補正予算

〔歳入歳出予算総額に2,036万5千円を追加し、総額を4億7,076万5千円とする。歳入では、20年度決算に応じて繰越金を増額。歳出では、機器修繕費、機能強化対策業務委託及び予備費等を増額する〕

〔質問〕接続率ほどのくらいか。

〔答弁〕全体で56・9%と低い状況だが、職員2人体制で接続率の低い集落を重点的にお願いに歩くなど、接続率向上に努めている。

特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算

〔歳入歳出予算総額に417万2千円を追加し、総額を3,467万2千円とする。歳入では、20年度決算に応じて繰越金を増額。歳

出では、予備費を増額する〕

黒川診療所運営事業特別会計補正予算

〔歳入歳出予算総額に384万円を追加し、総額を1億2,045万円とする。歳入では、20年度決算に応じて繰越金を増額。歳出では、共済費を増額し、残りを予備費に組み入れる〕

簡易水道事業特別会計補正予算

〔歳入歳出予算総額に742万8千円を追加し、総額を1億5,402万8千円とする。歳入では、20年度決算に応じて繰越金を増額。歳出では、職員手当等及び量水器交換業務委託並びに予備費を増額し、共済費を減額する〕

認可地縁団体印鑑条例の一部改正

〔地方自治法施行規則の一部改正に伴い、認可地縁団体に係る規定が改められたことから、条例中の文言を整理する〕

以上、原案のとおり可決すべきと決定した。

平成20年度

決算審査行われる!

10月9日、13日、14日

決算審査特別委員会

一般会計

10月14日

歳出の総額は、140億8,835万円で、予算現額に対する決算額の執行率は、90・8%である。実質収支は、5億5,945万5千円の黒字であり、実質単年度収支でも、3億2,307万1千円の黒字となっている。

審査の着眼点として、歳入では、歳入予算が計上どおり確保されたか。また、そのための努力が十分なされたか。歳出では、予算が事業等の趣旨・目的に従って適正に執行されたか。また、行政効果がどの程度達成されているかを主眼において審査が行われた。



歳出

総務費

質問 NI友好会館の利用状況、利用人数は。

答弁 20年度では、一般利用者数128件で5,713人、SIUとアメリカンハイスクール関係で、2件100人の利用で、19年度より2,000人程度増えている。



イニイ友好会館

ている。

質問 NI友好会館の学校法人として今後の利用計画は。また利用について県と協議はしているか。

答弁 学校法人太平洋、NSGに利用方法について検討してもらっているが、具体的な利用方法は現在のところはない。また、利用状況などの具体的な話がない現況では、県との話し合いは行っていない。

質問 現在のNI友好会館利用状況では、費用負担が多いが、再検討する考えは。

答弁 県の補助金関係で閉館は無理なので、一時休止を含め支出削減を考え、事務レベルで学校法人と話し合いを行っている。

質問 旧町営プール工事負担金の内容は。

答弁 公募で売却するため埋設管の移設経費。

質問 チャイルドシート購入補助金は何件分か。

答弁 117件分。

民生費

質問 敬老会会場のテーブル設置や余興など運営方法を検討できないか。

答弁 会場の都合上テーブル設置は難しいが、老人クラブ連合会と余興も含め検討してみたい。

質問 国民年金の加入者加入率は。

答弁 20年度で、加入者6,384人、加入率38.22%。

衛生費

質問 携帯臭気測定器はどのように利用しているのか。

答弁 現場へ持っていく測定していたが、実際の臭いと数値が違うようで現在は使用していない。

質問 国で温室効果ガス25%削減の目標を掲げているが、市は今後どの様に進めていくのか。

答弁 本年度、庁舎内取り組みの計画書作りと、市民、事業所、市を巻き込んだ形の推進計画書を来年度以降作成していく。

質問 つつじヶ丘町内アパ

ートのゴミ処理に、どのくらい掛かっているか、また、今後の対応は。

答弁 経費削減のため市職員が回収している。経費は、職員の人件費と車代。今後不法投棄防止監視カメラなどを使い努めていく。

質問 不妊治療助成対象者は何名か、助成制度のPRはどの様に行っているか。

答弁 県事業に該当にならなかった方の予算処置を行ったが、市の助成事業に該当する方はいなかった。PRは市報等に掲載したが、今後も各地区の健康相談等でも周知していく。

質問 ゴミの削減努力をしているが、業者との契約はどの様にやっているか。

答弁 業者に見積もりを出させ人件費、車代などを算定し実績をもとに前年度より下回った契約でやっている。

質問 し尿処理は民間委託しているが、投入量が減少している。負担方法に検討が必要では。

答弁 年々減少している

が、固定経費や維持管理費が大きく、組合費の負担減までに結びついていない。

質問 休日が多くなってゴミ収集回数が減ったが、祝祭日も含め決められた曜日に収集できないか。

答弁 何日間も収集が出来ない場合、収集を増やす事を来年度以降考えている。

農林水産費

質問 フラワーパークは、今後も現状で運営できるのか。

答弁 市民公園、と位置づけ入園料を減額し、市内農業者から花苗を購入し、地域農業振興の両面から考え今後も現況でいきたい。

質問 胎内川漁業協同組合補助金の内容は。

答弁 アユ・サケ等の放流関係の補助金で、放流事業は法定で無くす事はできない。

質問 黒川農業公社補助金の今後の考えは。

答弁 補助事業等で導入している機械等は更新する予定はない。法定耐用年数を

経過したものは公社等へ譲渡し、公社事業も見直していく。

質問 市内の農地転用の件数と違反転用は。

答弁 55件。違反転用は、パトロールを行っているが掌握はしていない。

質問 トレーニングセンターの器具利用状況は。

答弁 トレーニング室のみの利用者は1,500人。

質問 フルーツパークが軌道に乗った時、市の方針は。

答弁 軌道に乗ったなら関係者と相談し、いい姿になるよう努力する。

商工費

質問 ロイヤルに米粉パンを買いに行っても無かったりするが、今後もこのような運営をしていくのか。

答弁 米粉パンは品切れが続いている。ホテル運営との兼ね合いで作る場所が限られているが出来るだけ作っていく。

質問 交流促進施設費役務手数料の内訳は。

答弁 クリーニング手数料

カラオケ関係、浄化水検査、温泉成分検査、車両関係等。

質問 クアハウス胎内の赤字経営改善計画は。

答弁 早期に指定管理者制度の導入を目指す。

質問 各種貸付金の件数と自治体認定が必要な融資貸付状況は。

答弁 中小企業育成資金13件、産業育成資金6件、認定が必要な融資は130件。

土木費

質問 奥胎内ダム建設負担金の内容は。

答弁 国県99.4%、市0.3%、企業者0.3%負担。

質問 20年度除雪委託した道路の距離と稼働日数は。

答弁 262.6km、中条地区10日、黒川地区24日。

質問 今後の除雪管理計画は。

答弁 幅員のある道路は機械除雪で、狭い道路では消雪パイプなどで対応。

教育費

質問 各学校のプール保守管理委託状況は。

答弁 小学校は柴橋小を除く7校、中学校はプール授業を行っていない為、委託料は発生しない。

質問 心の教育相談事業をなぜ乙中で行っているのか。

答弁 開校時に乙中だけスクールカウンセラーが、配属にならなかったため代わりの事業。

質問 美術展覧会で審査を実施した効果は。

答弁 専門の審査員の評価を聞き、技術向上に効果があった。

質問 スポーツ教室指導は。

答弁 ゴルフ、野球、スキーなどの教室を開いた。

質問 ふるさと体験で中条小だけ4泊5日だが、他校と比べ効果は。

答弁 中条小の4泊5日は、文部科学省が今後全国の小学5年生にふるさと体験学習を実施して行く為、推進校に指定され、100%補助で実施した。効果については、日数に余裕があり色々な体験ができよかったですと聞いている。

質問 市内の小・中学校の

スキー授業経費と、スキー教室を有料にした場合の試算はしているか。

答弁 講師の謝礼、バス代が主なもの。20年度まで無料だったが、現在有料にした場合の試算をしている。



建設中の奥胎内ダム

歳入

質問 差し押さえで徴収した件数は。

答弁 101件、91人。

地方特例交付金 地方交付税

質問 地方交付税が増えると言われているが、市への影響は。

答弁 試算で2億3千万円の増になる見込み。

質問 国が地方交付税の対象にしている事業件数と金額は。

答弁 事業はかなりある。金額は70億9,833万4千円。

寄付金

質問 ふるさと納税者の地域状況は。

答弁 東京の方2名、新潟市の方1名。

質問 住宅使用料の不納欠損は何名か。

答弁 2名分。

質問 住宅使用料の収入未済額が多いが。

答弁 徴収係が2名から1名になったため未済額が増えた。今年度より2名にし、徴収に努めていく。

これらの質疑終了後、全員異議なく認定すべきと決定した。

決算審査特別委員会

特別会計

10月9日

主な質疑

国民健康保険事業

歳入総額 32億5,649万1千円
 歳出総額 30億1,896万3千円

質問 脳ドック受診についてもっとPRが必要なのではないか。どの位の受診者を見込んでいたのか。

答弁 受診者は19年度3名、20年度4名。利用者が少ないので、今年度から対象年齢を50歳から35歳に引き下げた。

質問 一般会計からの繰入金、人件費・事務費の他

は、どういう中身か。

答弁 医療給付費、介護納付金、後期高齢者への支援金、保険者支援など経営基盤安定に係る軽減分である。

質問 出産育児一時金は予定より対象者が少なかったのか。

答弁 だいたいの把握はしているが、不足にならないように多めに予算化している。

質問 予防医療事業の受診率はどのくらいか。

答弁 特定検診の受診率は49・1%。

質問 前年より保険給付費が減っているが、市のような事業効果なのか、それとも医者に掛かることを我慢しているということなのか。

答弁 外来の受診率は増えたが、入院の受診率が94%に下がった影響が大きい。

老人保健事業

歳入総額 3億2,327万9千円
 歳出総額 2億7,928万9千円

介護保険事業

歳入総額 21億1,421万1千円
 歳出総額 20億7,011万1千円

質問 認定者1,279人の施設利用者、在宅者等の割合は。待機者はどの位いるのか。

答弁 施設利用者287名。待機者は135名。

質問 高齢化が進む中、市は施設の数はどう考えているのか。

答弁 広域行政の中で協議検討していく。

質問 胎内市は介護サービスの利用率が県や全国平均より低い、利用者への努力は。

答弁 健康で長生きしていただける様に、地域包括支援センターを中心に介護予防に取り組んでいる。

質問 介護認定度の改正があったが、苦情等は無かったか。

答弁 認定調査員は苦勞したと聞いているが、本年10月から元の制度に戻った。

質問 認知症高齢者見守り事業と、認知症の人と家族の会の事業費の内容は。

答弁 4地区で認知症予防教室、認知症支援教室を開催している。家族の会事業費は、新潟県家族の会から新聞等の資料を購入しているものである。

農業集落排水事業

歳入総額 4億9,288万円
 歳出総額 3億8,741万6千円

特定環境保全 公共下水道事業

歳入総額 8,028万円
 歳出総額 7,520万8千円

公共用地 先行取得事業

歳入総額 7,590万1千円
 歳出総額 7,545万9千円

質問 史跡公園整備用地取得費は嘉平山の取得費か。

答弁 その通りである。

黒川診療所運営事業

歳入総額 1億2,236万7千円
 歳出総額 1億1,591万7千円

観光事業

歳入総額 6億3,671千円
 歳出総額 6億2,188万9千円

質問 スキー場の物品使用料は市長の裁量権でやっているのか。

答弁 近隣のスキー場の状況を見ながらサービスの対価としていただいている。

質問 旅行斡旋の赤字理由と、今後の見通しは。

答弁 大手旅行社はリベーターが薄くなるが、それらを活用することによって集客に繋がっていききたい。

質問 フィッシングパークの赤字の要因と今後は。

答弁 入場者数は、ほぼ同じだが客単価が下がっている。今後は景気が上向くとを期待している。

地域産業振興事業

歳入総額 10億7,446万4千円
 歳出総額 10億4,945万1千円

簡易水道事業

歳入総額 1億2,350万4千円
 歳出総額 1億1,507万7千円

後期高齢者医療

歳入総額 2億3,037万円
 歳出総額 2億2,451万2千円

鹿ノ俣発電所 運営事業

歳入総額 3,445万1千円
 歳出総額 3,414万5千円

宅地造成事業

歳入総額 1億2,721万8千円
 歳出総額 4,668万5千円

決算審査特別委員会

公営企業会計

10月13日

公共下水道事業

収入総額

6億784万9千円

支出総額

8億1,039万7千円

質問 事業収入の雑収入が昨年比、半減した理由はどのようなことか。

答弁 消費税と還付加算金が減ったため。

質問 接続率のアップの目標は持っているのか、それはどのくらいか。

答弁 接続率アップに向けて日々努力している。将来的には全国平均である80%を上回りたいと考えている。

質問 広報で下水道の普及のための特集や、実話的な掲載でPRできないものか。

答弁 市報で接続促進のPRを行っている。また、ホームページでは地区別の接続率等の状況も掲載しており、引き続きPRし、接続促進に努めていく。

質問 接続目標の算出設定が必要だと思うし、損益分岐点が理解されず、担当が代わるたび、様々な目標を示されるが、この現状をどう考えるのか。

答弁 まずは、全国平均80%を上回る目標で、取り組んでいく。

質問 職員の営業にも限度を感じるが、市長の様々な会合での接続PRも必要ではないか。

答弁 全力を尽くしてやっていく。

質問 起債利率の高いものについて、繰上償還はできないのか。今後、随時取り組むということか。

答弁 優先順位で借り換え償還を行っている。



中条浄化センター

質問 各地域で建設制度の違いからくる不公平感はないのか。

答弁 特に市民から聞いていない。使用料金は統一しており、引き続きPRし、接続促進に努めたい。

水道事業

収入総額

5億9,812万9千円

支出総額

5億3,928万3千円

質問 現在どのくらいの生産額で出来た水を、どのくらいで売っているのか。

答弁 1㎡あたり196円の原価の水を204円で販売している。

質問 今までの起債方法にない民間金融機関の借入れがあるが、どうということか。

答弁 繰り上げ償還金で、縁故債で借り換えしたものである。

質問 水道の原水の荒川揚

水と地下水の利用割合は、どのくらいか。

答弁 5対5の割合である。

質問 荒川揚水が高いというが、もう一本井戸を掘れば水道も間に合い、工業用水が使われるまで、荒川揚水を使わなくても良いのではないか。

答弁 井戸水の場合は、降水量によって水位・水量が変動するため、荒川揚水も併用しながら進めたい。

質問 未収金は一般家庭分だけでなく、大口があると思えるが、また、未収金が前年より半減した改善策はどのようなことだったのか。

答弁 未収金はあくまでも一般家庭だけであり、半減したのは、職員が一生懸命各家庭に徴収に出向いた成果と考える。

質問 水道料金以外の未収金4千万円には何があるのか。

答弁 3月末で入金されるが、公共下水道関連と、県関係等の負担金である。

質問 未収金は次年度に入金するということで理解し

てよいか。

答弁 その通りである。

質問 総収益、総費用でマインスとなっているが、経営は健全化に向かっているのか、厳しいのか、その努力、現状をどう認識しているのか。

答弁 まだまだ厳しい状況にあると認識している。20年度は幸い修理・工事の支出が少なかった。

工業用水道事業

質問 米粉工場が操業すれば水の売上げが発生するの

答弁 米粉工場は工業用水道は使用しないと聞いている。

質問 工業団地には幾つかの工場が操業しているが、どんな会社が来れば水が売れるのか。

答弁 一般的に半導体の企業などの冷却水に使用される。

これらの質疑終了後、全員異議なく認定すべきと決定した。

平成20年度 一般会計・特別会計・公営企業会計 決算状況

(単位：円，%)

区 分	予 算 額	歳 入		歳 出		差引残額	一般会計繰入金
		収入済額	執行率	支出済額	執行率		
一 般 会 計	15,512,789,856	15,213,820,490	98.1	14,088,349,488	90.8	1,125,471,002	
特 別 会 計	8,687,735,000	8,435,485,538	97.1	8,047,730,655	92.6	387,754,883	919,427,571
国民健康保険事業	3,295,423,000	3,256,491,502	98.8	3,018,962,478	91.6	237,529,024	208,767,497
老人保健事業	345,000,000	323,279,976	93.7	279,288,645	81.0	43,991,331	33,172,000
介護保険事業	2,130,297,000	2,101,421,740	98.6	2,070,109,304	97.2	31,312,436	332,666,121
農業集落排水事業	430,163,000	409,280,884	95.1	387,415,792	90.1	21,865,092	60,906,000
特定環境保全 公共下水道事業	81,095,000	80,280,622	99.0	75,207,910	92.7	5,072,712	26,225,000
公共用地先行 取得事業	75,900,000	75,901,266	100.0	75,458,087	99.4	443,179	68,126,000
黒川診療所 運営事業	138,903,000	122,367,121	88.1	115,916,464	83.5	6,450,657	2,500,000
観光事業	656,243,000	603,671,382	92.0	602,188,524	91.8	1,482,858	18,670,000
宅地造成事業	52,029,000	127,218,869	244.5	46,684,962	89.7	80,533,907	
地域産業振興事業	1,089,848,000	1,074,464,610	98.6	1,049,450,422	96.3	25,014,188	98,000,000
簡易水道事業	122,370,000	123,504,508	100.9	115,076,410	94.0	8,428,098	
後期高齢者医療	284,693,000	230,370,319	80.9	224,511,970	78.9	5,858,349	70,394,953
鹿ノ俣発電所 運営事業	37,800,000	34,451,608	91.1	34,144,649	90.3	306,959	
計	24,200,524,856	23,649,306,028	97.7	22,136,080,143	91.5	1,513,225,885	

区 分	収益的収支		資本的収支		一般会計繰入金
	収 入	支 出	収 入	支 出	
公 営 企 業 会 計	1,206,497,193	1,351,048,861	2,232,265,757	2,624,708,110	495,221,000
公共下水道事業	607,849,595	810,396,636	1,825,214,040	1,981,715,973	468,721,000
水道事業	598,129,326	539,282,795	406,068,717	642,009,133	25,000,000
工業用水道事業	518,272	1,369,430	983,000	983,004	1,500,000

総務文教常任委員会 行政視察研修会

平成21年7月28日～30日

①「公共・公営の施設運営と管理について」

秋田県北秋田市

ここは福祉のまちづくりで有名な鷹巣町を核として平成17年に4町の合併で誕生した。人口38,000人、高齢化率35・3%（胎内市は21年3月末で26・8%）と、少子高齢化が進んでいる。4町の合併ということもあり、市の施設389を管理・運営している。合併翌年の18年に小学校再編10ヶ年計画を策定、16校ある小学校を前期の5年で11校に、後期の5年で9校に統合することを市民に公表した。統合時は既存の校舎を利用し、5年後をメドに新校舎建設というふうな学校建設が集中しないよう計画されていた。統合に対する地元の意向は、年配の方々は寂しさを訴えているが、若い人は最近、統

合に積極的との事である。

観光施設は35施設中、指定管理14、直営16、一部委託5で、道の駅の直売所・食材供給施設と2ヶ所ある温泉宿泊施設は、すべて第三セクターが指定管理者、同じく2ヶ所ある日帰り温

泉施設は直営1、指定管理1施設であった。

3ヶ所あるスキー場運営は、指定管理1、直営1であるが、直営の場所は、客の入込状況は横ばい、主に近隣の方々が利用、アルペンスキーより、クロスカントリースキーが盛んです。23年度までには管理の在り方について検討することとした。

合併前の旧阿仁町にある



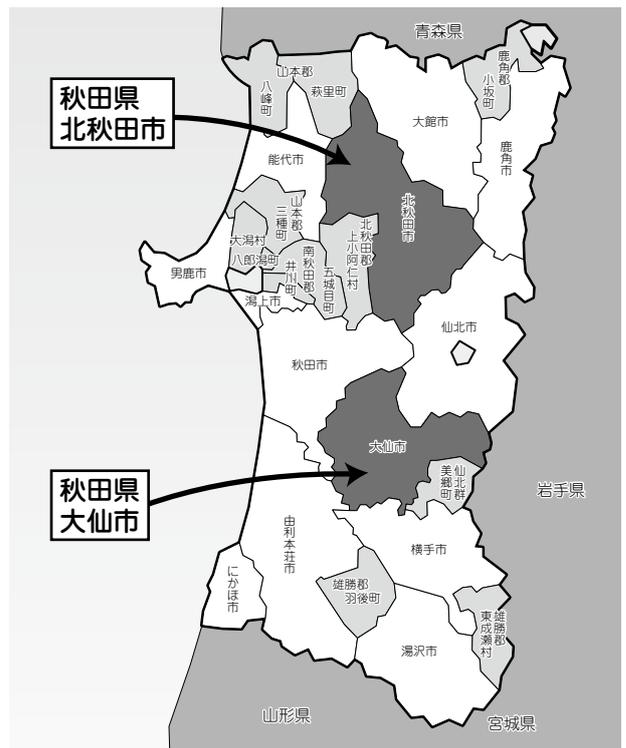
大仙市役所

大規模な民間スキー場は、スキー客の減少で経営が厳しく、補助金を出しているものの、次年度のスキー場営業は、関係者の存続要望はあるが、まだ決まっていないそうです。雇用関係にこの影響がどう出るのか危惧されていた。

北秋田市が現在取り組んでいる一番大きなプロジェクト

は、本年10月開院を目指した（仮称）北秋田市民病院の建設で、建設費88億7,000万円、ベッド数320床の、高度な医療を提供できる病院整備計画である。公設民営で既存の市内4病院と18の一般診療所に中核病院として、全国的に医師不足が問題になっている昨今ではあるが、福祉と地域医療を守らんとする北秋田市の姿勢には頭が下がる。

ただ、現在の進捗状況をみると、10月開院予定が4月にずれ込むような情報もあり、病院立ち上げの難しさも、垣間見えてくる。



②「総合型、地域スポーツクラブの設立・運営について」

秋田県大仙市

これはジュニアから青年・中、高年齢者まで2種目以上のスポーツで活動している民間のスポーツ団体が中心となったクラブのことで、文科省と日本体育協会がその育成と定着を支援しており、全国にその輪が広がりがつつある。胎内市も設立準備中とのことであるが、先進地秋田県は一昨年の秋田国体を契機に設立活動が活発化してきた。二順目国体が開催された新潟県、そして胎内市にあっても、少年ゴルフ、ライフル射撃、そしてグラウンドゴルフなど、多様なスポーツを開催したが、その熱が一過性に終わることなくスポーツ都市宣言にふさわしい総合型・地域スポーツクラブが設立されるよう希望し報告を終わります。

（文責 富樫）

議会運営委員会

行政視察研修会

平成21年7月21日、22日

①会津若松市議会

視察内容

①議会基本条例制定に至る経緯について

平成12年4月において、地方分権一括法により、地方自治体は、自らの責任において、自治体のすべての事務を決定する事となった。議会は、多様な意見を多様に代表できる合議機関である。そのため、市民の積極的な参加を求めていく事が必要である。このような市民参加を礎として、活発な意見交換を図り、市民本位の立場を持って、市民の負託に的確にこたえていく事を決意し、条例を制定するものとする。

②その他の議会運営について

議会と市民の意見交換会開催要項

①開催趣旨、会津若松市議会が、多様な市民の多様な

ものである。

②意見交換会の種類

③地区別意見交換会

④分野別意見交換会、政策討論会の開催、年2回とする。

運営の骨子について

①政策討論会の論理別、制度的な位置づけ

②政策討論会の構成

③討論テーマの提案

④討論テーマの決定

⑤政策討論会の運営

⑥政策討論会の成果の活用

⑦公開、政策討論会は公開する。但し、必要があると認めるときは、会議によって非公開とする事ができる。

研修所見

当市の基本条例の特筆すべき点



会津若松市役所

は、議会と市民との意見交換会を開催し、地方分権を最大限に活用した議会の資質の高さに感服してまいりました。

②若手県一関市議会

視察内容

議会基本条例に致る経緯について

平成17年、9月20日に1市4町2村の7市町村が合併し、新市が発足した事から、議会の活性化にむけた取り組みとして、議会の基本理念、議会の責務及び活動原則を定め、議会と市長及び市民の関係を明確化し、市民の負託にこたえていくため制定した。条例は、平成19年6月12日の第11回定例会で提案され、満場一致で可決された。

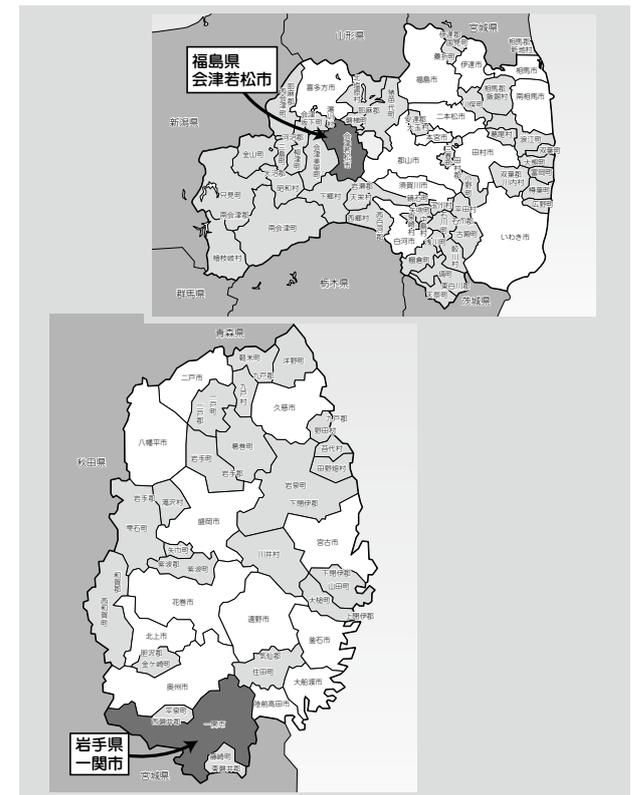
一関市議会政治倫理条例

一関市議会議員が、市民の厳正な信託を受けたもの

条例運用における成果等について

当市の議員定数は現在合併特例法の定数特例を採用し41人となっているが、

任期満了による次期選挙から法定数の34人となることから、現在の規定は総論的な規定となっており、常に議会全般に見直しを図っていくことが必要。7市町村が合併し新市が発足したばかりでそれぞれの議会、政治風土の違いがあることから、次の選挙で法定数の34人となるので、その時点で議会全般に見直しを図り、さらに議会基本条例の活性化に努めると話されておりました。



である事を認識し、市民全体の泰仕者として、人格と論理の向上に努め、いやしくもその地位による影響力を不正に行使して、自己の利益を図る事のないよう必要な措置を定めることにより、公正で開かれた民主的な市政の発展に寄与する事を目的とする。19年10月1日から施行。

(文責 坂上)

厚生環境常任委員会 閉会中所管事務調査

本会議の許可を得ておりました閉会中の所管事務調査は「悪臭問題について」であり、9月16日、問題地域の現地調査を行い、その後、委員会を開催しました。

その主な質疑としては、「施設の改善が見られたが臭気数値が上がっていることはどういうことか。」

「昨年の調査から見ると、施設が様変わりして、大変きれいな状態だったがいつ頃からこのような対策をとったのか。」

「昨年の調査で、事業所では今後改善を検討し、改善の都度、報告するとのことであったが、市の方には連絡は来ていたのか。」

「住民が苦しむのであれば臭を出さない具体的指導が必要ではないか」

「基本となる公害防止協定書の見直し、再度調印を検討することも必要なのではないか。」
などの質疑がなされました。

現在、関係事業者等では様々な悪臭防止対策に努めておりますが、まだ、近隣の住民が理解するまでの臭気数値に至っていない状況であります。しかし、事業

者として、問題解決の努力が見られること、また、今後の更なる悪臭防止の改善対策に期待して、引き続き委員会として注視していくことを確認し、調査を終了しました。

(文責 赤塚)



悪臭問題視察

企業誘致促進特別委員会 閉会中所管事務調査

10月13日企業誘致促進特別委員会を開催した。担当課より6月以降の企業誘致の活動状況報告があった。

①新幹線車内雑誌トランペール8号に当団地の広告掲載。
②ジュネリック医薬品関連

企業50社と県内、近隣県の企業3,000社にアンケート調査。

③10月初旬、幕張メッセで開催の展示会に企画し、PRコーナを設けた。

次に胎内市として現状の新潟中条中核工業団地の価格が他の工業団地と比較して高いので、中小企業基盤整備機構と新潟県に値下げ要請を行っている。

企業の誘致状況ではクラレメデカル株式会社、クラレ新潟事業所内に歯科材料製造プラントを2012年11月操業の計画が発表された。

その他、中核工業団地と市内の私有地に2社から進出の情報もあり、現在、誘致に繋がるよう鋭意努力中である。

当委員会としても誘致事業が、市民に十分理解されるよう支援しながら、地元就職が一人でも多くかなうよう努力することを確認し、企業誘致促進特別委員会を終了した。

(文責 松井)



中条中核工業団地に建設中の米粉工場

胎内市選挙管理委員会 管理委員・補充員選挙

選挙管理委員会委員

選挙管理委員会委員補充員

- ・河内亀太郎氏 (地本)
- ・水澤辰夫氏 (山王)
- ・熊倉孝直氏 (関沢)
- ・塚野耕司氏 (大長谷)
- ・加藤宗俊氏 (笹口浜)
- ・安澤リヨ氏 (乙)
- ・赤塚繁雄氏 (羽黒)
- ・須貝建吉郎氏 (黒川)



第3回定例会

傍聴記

本町
高橋 正利さん

市長さんをはじめ、市会議員の方々が、市をより良くするために、いろいろな課題を熱く議論されていました。

私の傍聴した一言。
良い議論をされているのに、傍聴人が少なく感じました。市民がもっと関心をもち、聞きに来てもらうように、事前に質問内容を知ってもらった方が、良いのではないか。議会に対し、関心が強くなるのではないかと思います。

一つの提案として、誰でもどんな質問をするのか、一般質問項目を、事前に「市報がない」などに載せたりしてはいかがでしょうか。

〈議会報モニターアンケートより〉

(8月号No.18号を見て)

- ◎第2回定例会の概要について (P2～P3)
- ・季節感のある図柄で統一されていて大変良いと思います。
- ・大見出しの重なるイラスト季節感があって良い。
- ◎一般質問について (P4～P9)
- ・各地域の問題をそれぞれが満遍なく質問されていてバランスが良いと思いました。
- ・レイアウト、今までよりスッキリ感があります。
- ◎常任委員会審査 (P10～P11)
- ・ピール園の写真は入ったことのない人にも様子が分かり、よいアングルだと思いました。(今までは、外観の写真が多かったので)
- ・内容的に「予備費が増える」事はわかりましたが、来年以降の「予備費」の行方も気になりますね。
- ◎行政視察研修報告について (P12～P13)
- ・とてもわかりやすい研修報告です。写真・地図の使い方も良く読む気にさせられたページです。
- ・今までは「行ってきました」という記念写真はあまりが目立ち「報告」はごく簡潔なものばかりでしたが、今回は大変、内容の濃い分かなりやすい「報告」で読み応えがありました。
- ・地図を示す事で位置や面積を視覚的に確認できた事も大変良かったと思います。
- ・写真、図面等全ていいですね。議員さん方の熱心さが伝わります。
- ◎閉会中所管事務調査について (P14)
- ・特にありません。写真等がよく利用され、読みやすく出ています。
- ◎平成20年度会派別政務調査費収支結果について (P15)
- ・掲記の収支結果表だけ見

H21年 議会の動き

8月	11日	議会運営委員会
9月	16日	厚生環境常任委員会
	24日	議会運営委員会 全員協議会
10月	2日	第3回定例会(初日)
	5日	総務文教常任委員会 議会運営委員会 厚生環境常任委員会 産業建設常任委員会 決算審査特別委員会(特別会計) 決算審査特別委員会(企業会計) 企業誘致促進特別委員会 決算審査特別委員会(一般会計・採決)
	14日	第3回定例会(一般質問)
	15～16日	議会運営委員会
	21日	第3回定例会(最終日) 議会報編集特別委員会
11月	6日	議会報編集特別委員会
	9日	議会報編集特別委員会
	16日	議会運営委員会 議会報編集特別委員会
	19日	第4回臨時会
	27日	全員協議会 議会運営委員会
12月	4日	第4回定例会(初日)
	7日	議会運営委員会
	8日	総務文教常任委員会
	9日	厚生環境常任委員会
	10日	産業建設常任委員会
	15～16日	第4回定例会(一般質問)
	18日	第4回定例会(最終日)

編集後記

今年も暖冬が予想されておりませんが、11月初旬に、早くも、各地で降雪があり、寒さが一段と厳しい季節になりました。

当市にも、新型インフルエンザが発生しております。お出かけの際にはマスクを着用し、帰って来た時には、手洗いなどを忘れずに、予防に心掛けて頂きたいと思えます。

私たちが編集委員は、一般質問の内容について、発言をした各議員から原稿をいただき、誤字、脱字、決められた字数内であるかなどを、確認、訂正した中で、



せられても、どうなのかよくわからない。

・とても興味あります。この次も公開するのでしょうか、今回初めてですよ。

貴重なご意見ありがとうございました。(編集委員)

また、今までの答弁内容文を、600字から、900字に増やした文字数にしてあります。これからも、市民の皆様詳しく、読みやすい「議会報」編集作成に心掛けてまいります。

また、多くの市民が議会傍聴に、参加して頂きますよう、お願い致します。

(佐藤 武志)

平成21年12月1日 発行責任者 議長 斎藤 貢

FAX (0254) 44-7875

〒959-2693 新潟県胎内市新和町2番10号

印刷/株式会社天野印刷

